

- ① 格付投資情報センターなど、セキュリティに格付あり
- ② NRIが遠隔検査エンジンを独自開発
- ③ 日本IBM、SOAの開発に新ソフト
- ④ セールスフォースがCRMの新版発売
- ⑤
- ⑥ Webシステムの品質向上に必須のAPM
- ⑦ NRI/CIAJ、電子マネー市場を調査
- ⑧

発行所 情報産業新聞社 東京都港区芝公園4-2-8 東京タワー3階  
〒105-0011 電話 (03)3434-4911 F A X (03)3434-4912  
http://www.josan.jp e-mail: info@josan.jp

# 企業にWeb2.0

## 情報活用とCRMに有効

アクセントチュア

日本経済が成長を遂げるのには、ITの活用が不可欠である。ITの活用は、生産性の向上と企業価値の向上につながる。Web2.0は、企業価値の向上に有効である。Web2.0は、顧客とのコミュニケーションを促進し、顧客のニーズを把握し、顧客の満足度を向上させる。Web2.0は、企業の生産性を向上させ、顧客の満足度を向上させる。Web2.0は、企業の生産性を向上させ、顧客の満足度を向上させる。Web2.0は、企業の生産性を向上させ、顧客の満足度を向上させる。

# 具体的戦略策定へ 客観的評価の仕組みも

## 経済産業省

### 9月にも産学官で協議会設立

経済産業省は、高度人材の育成を促進して、産業の競争力の強化と生産性の向上を図ることを目的として、11月14日開催の第1回産学官協議会を公表した。これは、産学官の連携を促進し、高度人材の育成を促進するための協議会である。協議会には、産学官の連携を促進し、高度人材の育成を促進するための協議会である。協議会には、産学官の連携を促進し、高度人材の育成を促進するための協議会である。協議会には、産学官の連携を促進し、高度人材の育成を促進するための協議会である。

# 人的損害を数値化 災害管理ツールを開発

IBM

人的損害を数値化するツールを開発した。このツールは、災害発生時の人的損害を数値化し、災害管理に活用できる。このツールは、災害発生時の人的損害を数値化し、災害管理に活用できる。このツールは、災害発生時の人的損害を数値化し、災害管理に活用できる。このツールは、災害発生時の人的損害を数値化し、災害管理に活用できる。

# 産学官連携の領域

4-1

## 初聴防止対策白書で啓発を

初聴防止対策白書を発行し、啓発活動を行う。この白書は、初聴防止対策の重要性を説明し、企業に啓発を行う。この白書は、初聴防止対策の重要性を説明し、企業に啓発を行う。この白書は、初聴防止対策の重要性を説明し、企業に啓発を行う。この白書は、初聴防止対策の重要性を説明し、企業に啓発を行う。

